

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025 年 3月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	0	・状況によって、安全・快適に過ごすには手狭になる事もある。親子行事等のイベント時には外部の施設（地域交流センター等）を借りて行うようにしている。 ・感染症対策で、密にならないよう、個別課題や療育内容に合わせた空間分けをしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	0	・利用人数や個々のお子さんの状況に合わせ、その都度 職員配置を行っている。 ・他の事業所より、加配人数を手厚く配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	1	・送迎車の駐車場が階段下で道路に面している為、安全対策等の配慮は必要であるが、送迎車の出入りの場面では、必ず送迎担当以外の職員も立ち合い、安全確認をしている。 ・写真や絵カードなどを使い、視覚支援に配慮している。 ・限られた環境の中で、空間の構造化に配慮し工夫。	・入り口が階段で、車椅子、歩行が困難な方の利用が難しいと感じる。スロープ等の設置を検討したい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	・保健担当の職員を中心に室内や遊具、送迎車などのアルコール消毒を実施、毎日の清掃に心がけている。 ・空気清浄機や加湿器を各部屋に配置積み。清潔な環境になるよう心がけている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	1	・施設自体が狭いため、部屋数が足りないと感じる。 ・集団活動の部屋、個別にじっくり取り組める部屋・・必要に応じて部屋分けをしている。 ・子ども達が気持ちを切り替え安心して活動に参加できるよう、スヌーズレンの部屋を確保している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	0	・定期的（月1回）にミーティングや教材研究の時間を取り、職員が情報交換をする機会を作っている。 ・それぞれの職員が役割（体育・知育・徳育）を意識して業務につとめている。 ・課題や対処法を必ず職員間で協議し、意思統一を行うようにしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	・アンケート結果を受け、職員間で話し合いを行っている。 ・連絡帳にて保護者との意見交換を実施している。 ・年度末に、ホームページにて公開中。保護者にも、お便りで連絡している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	・職員間で相談しやすい雰囲気がある。問題があればチーム間での話し合い、解決策を練っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	0	・第三者委員を委託済み。外部評価の結果をグループ全体の業務改善につなげていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	・1人1回以上の研修参加を義務付け、自己研鑽を図れるようにしている。 ・研修へ行く職員の偏りが無いよう、配慮している。 ・定期的に子ども達のケース研究をしている。職員間で話がしやすいので助かっている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0	・以前より、個別の支援計画を参考にプログラムを作成。 ・公表済み。保護者にも周知済み。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11	0	・個別面談で、子供の状況、保護者のニーズを把握して支援計画を作成している。 ・職員会議等で職員間でケース検討をし、色々な視点を大切にしながら支援計画に繋げている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0	・アセスメントをする段階で、職員間で子どものケースや支援内容を話し合いながら行っている。記録に残し、支援計画作成に活かすようにしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0	・療育内容の領域別担当者を決め、担当者が中心となって話し合いをしながら計画を立てている。 ・「午前療育」「午後療育」のチームで、月2回、活動プログラムのミーティングを実施。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0	・アセスメントツールにプラスして「発達支援チェック表」を作成。職員間で評価、協議を行っている。 ・日中一時支援、送迎支援などのサービスを活用を通しての家族支援や必要に応じた関連機関等との連携などの地域支援を実施し、個別支援計画に示している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0	・送迎サービスなど、共働きの家庭に配慮した家族支援を行ったり、短期大学と連携し、座学や相談会を計画したり、学生さんと子どもの特性に合った遊びや遊具の研究をしたり、支援内容に活かされるような取り組みをしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0	・職員間で子供の状況の情報交換を行い支援している。 ・児童発達支援計画に基づいた日々の療育プログラムを組み立てている。 ・支援計画に沿っているか、定期的なチェックで見直し、支援に反映させるよう心掛けている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	・療育内容の領域を月替わりのローテーションで回しながら固定化しない様にしている。子供たちの興味の尺度を見て、療育内容に盛り込むようにしている。 ・日ごと、週単位で目標を立てながらプログラムを立てている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11	0	・子ども達の状況を把握し、「この子の今」を大切に考えながら、一人一人に応じた支援内容としている。 ・利用人数や利用メンバーに応じて個別活動と集団活動を組み分けしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0	・利用メンバーに合わせて職員の担当や配置の打ち合わせを実施（その日の主となる職員が確認）職員間で話し合うことで、子ども達に支援すべき課題も共有出来ていると思う。 ・日々のミーティング時間を取りにくかったり、全員で集まる事は難しいが、昼食時などを活用したり、話し合ったことは必ず伝達し合うなど、工夫をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	0	・職員間での意見交換や情報共有をできるようにしている。話し合いを持つことで、お子さんの課題が共通理解できている。 ・療育中で「どこが良かったか」「改善点はあるか」を職員間で出し合い、情報共有に努めている。 ・意見交換や情報共有の場面に送迎等の業務で参加できない時もあるが、職員同士で声を掛け合い、確認するようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	・連絡帳をベースとし、個人記録を残すようにしている。 ・保護者にも、日々の療育について関心を持って貰えたり、支援計画に反映できるよう心がけている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0	・発達支援チェック表や保護者からの面談シートをモニタリングの参考とし、定期的（午前療育・午後療育別）に話し合いの時間を持っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	・児童発達支援管理責任者、管理者が出席している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0	・幼稚園・保育所の見学やサービス担当者会議等で情報交換会を行っている。 ・必要であれば、相談事業所に働きかけ担当者会議を開催し、支援方法を共有しながら、一貫して支援が行えるようにしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0	・必要に応じて、定期的に保育所、幼稚園、その他の園との担当者会議を行い、支援内容等の情報共有をしている。 ・個別支援計画の変更時には保護者を通じて計画をお知らせしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0	・関連の小学校・特別支援学校への情報提供や情報交換会を行っている。 ・毎年、就学説明会には参加するようにしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10	0	・例年、児発管会議にて各連携機関との情報交換を密にしたり、発達支援センター主催の研修会等に積極的に参加している。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	10	1	・保育園、幼稚園等並行通園されている利用者は多い。 ・地域の「遊び場」を園外保育で訪れるようにしている。 ・例年、地域の防災訓練に参加し地域の人や小学校の生徒さんとの交流が持てているが今年度も感染症対策の影響で実施されなかった ・障がいの無い子どもさんとの交流会が少ないので今後増やしていきたい。	・以前は、夏休みやクリスマス時期に地域の子ども達との遊びのイベントを企画していたが、コロナ禍で自粛。復活を検討したい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	・連絡帳の活用、送迎時や親子行事日を捉えて、お子さんの状況を伝えている。 ・職員間で子ども達の支援同様、保護者支援を大切にすることを職員間で申し合わせ、「保護者に寄り添える支援」をチームで考えている。 ・支援のヒントになる可能性が大きいため、情報提供・共有・収集を保護者を行うようにしている。 ・親子行事の時には、必ず「茶話会」等を設け、情報共有する場を作るようにしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	0	・親子行事を大切にしている。また、日々の連絡帳で保護者の方から問題提起をしてもらえるよう、働きかけをしている。 ・外部のペアレントメンターさんや専門家を招いての、家族支援プログラムを実施。 ・保護者の状況（家庭への介入が難しい）によっては、支援が届きにくい場合もあるように感じる。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	・契約時に詳しく説明するようにしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0	・支援計画の見直しのための面談を定期的に実施している。保護者の意向を記録に残し、個別支援計画作成に反映するようにしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11	0	・6か月ごとのモニタリング時に同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	・定期的なモニタリング時、親子行事日などの機会をとらえて実施。 ・要望があれば、電話相談や個別相談に対応出来る様にしている。 ・例年、外部から専門家をお呼びして相談会を実施している。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	0	・父母の会はないが、親子体験型の行事（親子遠足、療育相談会、講演会）等を企画するようにしている。	・保護者同士の連携が取れる場や兄弟同士が交流できる場が提供できる企画を提案していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	・要望があった場合は、速やかに面談日を設けるようにしている。 ・コロナ禍で面談も頻繁に実施出来ない為、「自由参観日」への誘い掛けで、保護者から声をかけて貰いやすい場を設定するようにしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	0	・月1回の園だより、季節の保健だよりを作成し発信している。 ・必要であれば、連絡帳の活用や日々の送迎時に伝えるようにしている。 ・HPの活用や更新が十分でないため、今後はフルに活用して情報発信していけるようにしたい。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0	・個人情報に触れる事項（写真掲載等）は保護者から承諾を得て実施している。 ・鍵付きの保管庫にて漏えい防止をしている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	・口頭だけでなく、視覚支援で理解してもらいやすいよう工夫をしている。 ・必要であれば、マンツーマンでの個別対応をするなどして、配慮している。 ・保護者には、同行支援や行政へ援助依頼を要請するなど対応している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	1	・地域の方の畑を借用。アドバイスを受けながら子ども達と野菜栽培をしている。 ・例年、地域のショッピングセンターを利用した買い物体験等の行事やお散歩等で地域の方と触れ合う活動を企画しているが、今年度は実施が十分で無かった。	・今後、地域住民を招待するような行事を企画していきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0	・マニュアルを作成、保護者にも配布し、担当職員を決め、定期的に訓練を実施している。 ・各種訓練を通して、避難場所の小学校や消防署、警察署も訪問し、日ごろから連携を取り、アドバイスを頂くようにしている。 ・定期的な保健だより等で、感染症対策や予防を保護者にもお願いしている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	1	・策定済み。 ・年間計画の中に位置づけ、定期的を実施している。 ・子ども達が必要以上に不安感を持たない様、配慮しながら行っている。	・職員、保護者への周知を徹底する。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0	・看護師の職員に相談をしながら行っている。 ・服薬時には与薬依頼票を必ず提出していただき、症状を確認。 ・発作・アレルギー等のあるお子さんについては、対処法のフローチャートを掲示し、直ぐに服薬・緊急通報等の対応が出来る様にしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0	・事前のアセスメントや食事に関するアンケート調査を行い確認し対応をしている。 ・「食物アレルギー」のあるお子さんには、個別対応をして食材を提供している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0	・策定済み。 ・年間計画の中に位置づけ、定期的を実施している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0	・事例集を作成し、職員間に周知済み。今年度は、小さなヒヤリハットも見逃さず、記録を取る様申し合わせ、職員+G54:G55間での声掛けをしている。 ・過去の事例を見ることもできるので参考になる。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	・県の主催する虐待防止の研修会に職員が交代で参加をし、施設内での伝達研修も行っている。 ・保護者の目から見た「虐待」の視点もお聞きし、参考にするようにしている。 ・日ごろから、職員間で「大丈夫？」と思ったことは話をするようにしている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	・毎年、職員が研修会に出席後、職員会議にて「伝達研修」「虐待防止チェックリスト」を実施し虐待防止対策を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11	0	・法人に「虐待防止委員会」を設置。 ・身体拘束におけるマニュアルを示して説明し、保護者からの承諾を得るために、全利用者の児童発達支援計画に記載済み。	